

科学技術による地域活性化戦略 ～ 地域拠点のエコシステムを目指して～

地域科学技術施策の現状と課題

地域科学技術施策の成果



一定の成果

知的クラスター創成事業

第 期事業(平成14～18年度)、第 期事業(平成19年度～)
特許出願件数2,230件、事業化件数803件

産業クラスター計画

第 期(平成13～17年度)、第 期(平成18年度～)
5万件の新事業創出、800件の創業
1社当たり売上高の増加(平成12年度32億円 平成17年度36億円)

地域科学技術クラスター連携施策群

(平成17年度～) 8府省17施策の連携

特色ある地域の取組み事例

北大R&Bパーク構想	岩手マイスター育成
山梨ワイン人材生涯養成拠点	食農産業クラスター(豊橋市)
彩都ライフサイエンスパーク	シリコンシーベルト福岡プロジェクト

地域科学技術施策の課題

人材についての課題

優秀なコーディネーターの不足
地域を支える研究・技術開発人材の不足 など

産学官連携についての課題

地域活性化の担い手としての大学の機能が弱い
大学の「研究」と企業の「開発」をつなぐ取組みが不十分
事業化支援策が不十分 など

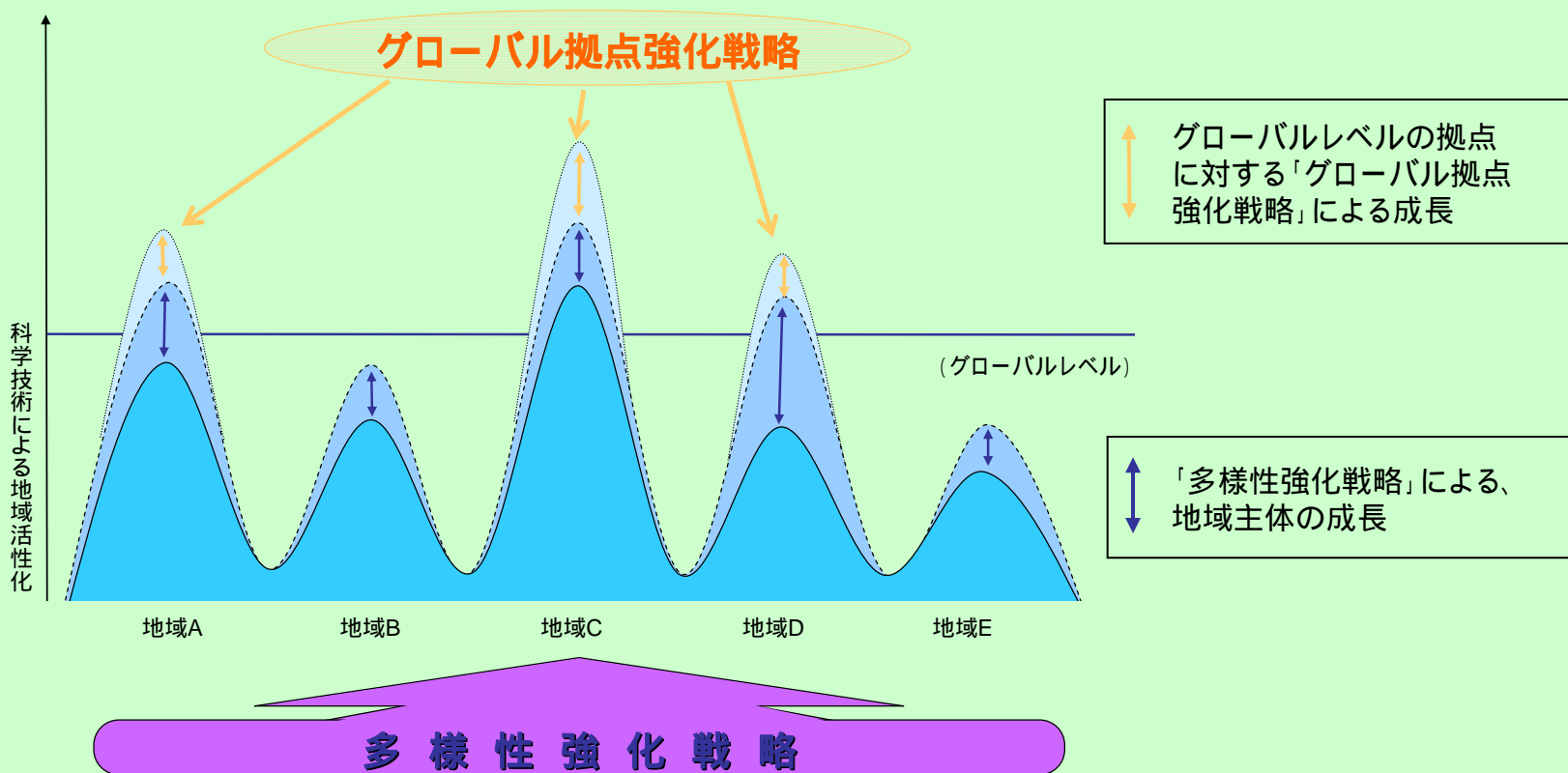
地域内のマネジメントや連携についての課題

地域ビジョンの共有が不十分
組織の枠や地域を超えた連携が不十分
公的機関や大企業との連携が不十分 など

地域科学技術施策に求められる基本的視点

- 地域のそれぞれの科学技術拠点が、地域主導で、特色や強みを活かして、さらなる成長を遂げる。
多様性のある地域科学技術拠点群の形成へ。
- 国は、そのような多様性の中から、「グローバル型の科学技術拠点」を育て、発展させる。
グローバル競争に伍して、わが国の成長センターとなる拠点の形成へ。
- それぞれの拠点が、互いに競い合い、協調。
強靱でダイナミックな「地域拠点のエコシステム」の形成。

地域科学技術拠点のエコシステム



多様性強化戦略

(戦略1)

人材育成及び人材循環の強化

- ・ コーディネーターや技能人材の育成
- ・ ポスドクの活用 等

地域の多様性強化

- ・ 特徴ある地方の大学等の研究機関の研究活動を支援する競争的研究資金の新設等

大学等の産学連携機能の強化

- ・ 知的財産の管理・活用体制の強化
- ・ 大学等の先端研究施設の開放・利用促進 等

事業化支援機能の強化

- ・ 産学官・金融連携の強化
- ・ エンジェル税制の利用拡大、中小企業と大企業の連携 等

国の制度改革

- ・ 受注機会の拡大
- ・ 大学発ベンチャーに対する出資等

情報システムの利活用促進

- ・ 地域科学技術ポータルサイトの充実
- ・ 府省共通研究開発管理システムの活用

地域マネジメントの強化

- ・ 地域のコアとなる機関への支援

グローバル拠点強化戦略

(戦略2)

- グローバル競争に伍する成長センターを形成するため、強い拠点をより強化
- グローバル科学技術拠点候補に、資源(施設整備、技術開発支援、人材支援等)を重点投入
- 関係府省が、府省の枠を超えて一体的に支援